KINDAI CARELINK

February.2023 Vol.31

KINDAI UNIVERSITY HOSPITAL

泌尿器科

×

腎臓内科

腎臓内科　人工透析部室長

坂口 美佳

Ｍｉｋａ　Ｓａｋａｇｕｃｈｉ

泌尿器科　医局長

森 康範

Ｙａｓｕｎｏｒｉ　Ｍｏｒｉ

腎代替療法

renal replacement therapy

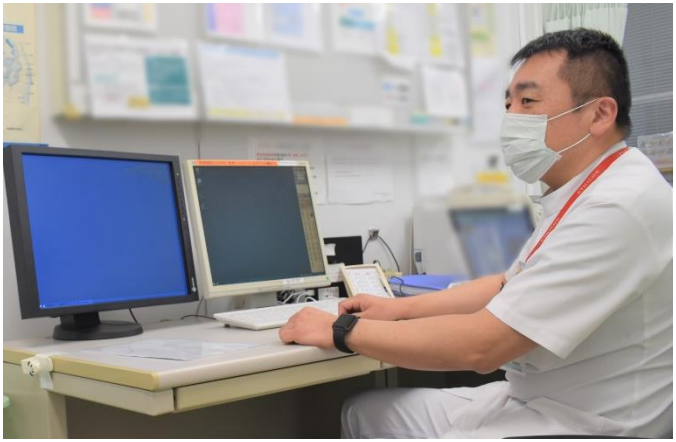
泌尿器科 × 放射線治療科

泌尿器科　准教授
藤田 和利
Kazutoshi Fujita

放射線治療科　准教授
中松 清志
Kiyoshi Nakamatsu

前立腺癌治療
prostatic carcinoma treatment

長期移植腎生着を目指して



慢性腎臓病（CKD）患者において、腎機能障害が進行すると腎代替療法が必要となります。腎代替療法には、透析療法（血液透析、腹膜透析）、腎移植があり、その選択にあたっては医学的な予後だけではなくライフスタイルや趣味など自分に合った治療法を選ぶ必要があります。

腎移植は、全国で年間1700-2000症例程度実施されており、生体腎移植の5年生着率は93%、10年生着率は80%程度と成績が向上しております。

当院では、開院以来現在まで生体腎移植213症例、献腎移植103症例の手術を施行しており、関連病院を併せますと合計444症例の腎移植術を施行してきております。近年は、月に1-2症例程度腎移植術を施行しております。

腎代替療法が必要となる患者様で腎移植を希望される方がいらっしゃれば腎移植紹介外来にご紹介いただきたく存じます。

全力で取り組ませて頂きますので何卒宜しくお願い致します。　（泌尿器科　森 康範）

新たな国民病ともいわれている慢性腎臓病が進行すると慢性腎不全となり、本邦では毎年約4万人の患者さんに腎代替療法が開始されています。腎代替療法には血液透析、腹膜透析、腎移植の3つの方法があり、いずれも計画的に開始することが患者さんのQOLや予後改善につながるといわれています。

腎代替療法導入の際にはそれぞれの療法に関する詳細な説明や相談のための特殊外来も設け、メディカルスタッフとともに共同意思決定を行い、お一人お一人の症状やライフスタイルに合った腎代替療法の計画的な導入を心がけています。

腎代替療法導入やその後の合併症診療などにおいてチーム医療は大変重要であり、腎臓内科、泌尿器科、それぞれの診療担当科、メディカルスタッフが一丸となって、より質の高い、より安全な診療の実践を目指しています。（腎臓内科　坂口 美佳）

人工透析チーム

前立腺癌治療

診断から手術、薬物療法まで最前線の医療を！

前立腺癌は日本人男性で最も発症数の多い癌です。
一部予後の良い前立腺癌もありますが、前立腺癌死亡者数も年々増加し、現在は国内で年間１万２千人以上が前立腺癌でお亡くなりになられています（男性の部位別がん死亡数で７番目）。
前立腺癌の早期発見にはPSA検査を行い、異常値が出た場合はMRI検査を実施の上、前立腺針生検を行います。１０年以上の期待余命のある男性、特に７５歳以下の方にはPSA検査を行い、早期の前立腺癌診断が重要です。
当院では経会陰的前立腺針生検を１泊２日の入院で脊椎麻酔下に行っており、生検時の痛みが無く、また合併症も少なく実施可能です。
前立腺癌が診断された場合には、根治術としてロボット支援前立腺全摘除術もしくは放射線治療（小線源治療、外照射療法）を提示しています。ロボット支援前立腺全摘除術では積極的に神経温存手術を行い、性機能の温存を目指しています。
進行性の前立腺癌に対しては新規ホルモン剤による治療を積極的行っています。去勢抵抗性前立腺癌に対しては癌ゲノム検査を行い、変異に応じた個別化医療も積極的に行っています。
地域の先生方との病診連携を重視し、ホルモン療法や検査、治療後のフォローをお願いしております。前立腺癌疑いの患者さんがおられましたら、ご紹介をよろしくお願いいたします。　（泌尿器科　藤田 和利）

泌尿器科

藤田　和利

Kazutoshi　Fujita

放射線治療科

中松　清志

Kiyoshi　Nakamatsu

写真1　外照射療法では最新の機器を使用することで治療時間が約5分と従来の1/4になりました

写真2　小線源療法では前立腺に沿って小さな金属片を永久挿入します

前立腺癌に対する根治的治療方法は、近年放射線療法により前立腺摘出手術とほぼ同等な治療成績が得られるようになりました。

当院では強度変調放射線治療（intensity modulated radiation therapy: IMRT）と密封小線源療法から治療方法を選択することができます。

IMRTは高いエネルギーのX線を体外から複数回（最大39回）照射する方法です。当院では最新の放射線照射装置を用い、前立腺そのものをCT画像で確認しながら痛みも無く1回10分ほどで精密な治療が行えるようになりました。

密封小線源療法は、放射性物質であるヨード125を小さな針状の金属に密封し前立腺に直接挿入する治療方法です。部分的な麻酔が必要なため入院が必要ですが、1時間ほどの手術で3日後には退院できます。近年ではホルモン療法や外照射療法を併用することで治療適応が広がってきました。

このように、当院の放射線治療法はより高精度に、より安全な方向に進化を続けています。　（放射線治療科　中松　清志）

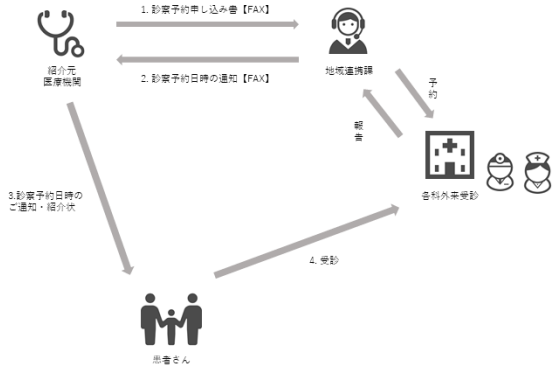
紹介予約手続き方法

紹介予約手続きは紹介元の医療機関を通じて行って頂きますようお願いいたします。

1. 診察予約申込書に必要事項をご記入のうえ、
   地域連携課までFAXをお願いいたします。

2. 患者さんのご希望の日時で予約をとり、
   「診察予約日時の通知」をFAXにて
   返信させていただきます。
   （平日20時まで対応いたします）

3. 患者さんに予約日時等をご説明いただき、
   診察予約日時のご通知・紹介状をお渡しください。



＊ICT地域医療連携ネットワークシステムを導入いただきますと常時診察予約が可能です。

地域連携課　直通TEL **072-366-0241**　FAX **072-365-7161**　【受付時間 9：00－20：00】
（紹介予約に関するお問い合わせ）

緊急患者紹介方法について

地域連携課 【受付時間 9：00－17：00】
072-366-0257　直ちに専門医療が必要な症例、病院事務から専門医に電話回送

救命救急センター 【24時間体制】
072-366-0250　重度外傷・重症疾患、中毒・熱傷、その他の高度な救急医療

脳卒中コール 【24時間体制】
072-366-0920　脳卒中（発症24時間以内の麻痺、言語や意識障害、急性頭痛を呈する軽症から重症の患者）、くも膜下出血、脳腫瘍又はその疑い

ハートコール 【24時間体制】
0120-145-810　狭心症、心筋梗塞、心不全、不整脈、大動脈解離又はその疑いなどの重症循環器疾患

周産期コール 【24時間体制】
072-366-0133　産科救急（母体救急、胎児救急）、婦人科救急

緊急時要請出動ドクターカーシステム

循環器疾患患者さんで緊急治療を要する場合、医療機関からの要請（相談）に応じ、
医師がドクターカーに同乗し、患者さんをお迎えにあがります。

ハートコール 心臓血管センター 【24時間体制】
0120-145-810

心臓血管外科
072-366-0221（**内線3138**）